

「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」および「後期高齢者医療限度額適用認定証」の更新の手続き等のお知らせ

現在「限度額適用・標準負担額減額認定証」(黄色)・「限度額適用認定証」(桃色)をお持ちの方

令和4年7月31日で有効期限が切れますので、新しい「限度額適用・標準負担額減額認定証」(薄青色)または「限度額適用認定証」(桃色)を7月中に郵送します。8月1日からご使用ください。

新しく申請が必要な方

所得区分が低所得者Ⅰ・Ⅱの方および現役並み所得者Ⅰ・Ⅱの方で、「限度額適用・標準負担額減額認定証」(以下「減額証」という)または「限度額適用認定証」(以下「限度証」という)をお持ちでない方は、外来および入院で受診される際に利用できませんので、健康推進課国民健康保険係の担当窓口へ申請してください。

【申請に必要なもの】後期高齢者医療被保険者証、本人確認書類

入院・外来時の自己負担限度額および入院時の食事代

負担割合	負担区分	外来+入院(世帯単位)		入院時の食事代(1食当たり)	「減額証」「限度証」発行の有無
		外来(個人単位)			
3割	現役並み所得者Ⅲ (住民税課税所得690万円以上の方)	252,600円+(総医療費-842,000円)×1% <4回目以降140,100円>(※1)		460円 指定難病患者の方などは260円の場合もあります	発行なし 申請不要
	現役並み所得者Ⅱ (住民税課税所得380万円以上の方)	167,400円+(総医療費-558,000円)×1% <4回目以降93,000円>(※1)			発行あり 申請が必要
	現役並み所得者Ⅰ (住民税課税所得145万円以上の方)	80,100円+(総医療費-267,000円)×1% <4回目以降44,400円>(※1)			発行あり 申請が必要
2割	一般Ⅱ (令和4年10月から)	18,000円 (年間上限14.4万円) または{6,000円+(医療費-30,000円)×10%} の低い方を適用	57,600円 <4回目以降44,400円> (※1)		発行なし 申請不要
	一般Ⅰ	18,000円 (年間上限14.4万円)			
1割	低所得者Ⅱ(※2)	8,000円	24,600円	過去12カ月で90日までの入院 210円 過去12カ月で91日目から入院 160円	発行あり 申請が必要
	低所得者Ⅰ(※3)	8,000円	15,000円	100円	発行あり 申請が必要

◎入院時の食事代について、療養病床に入院する場合は金額が異なりますので、入院時に医療機関にお尋ねください。

(※1) 過去12カ月以内に外来+入院の限度額を超えた月が4回以上あった場合、<>内の金額となります。

(※2) 低所得者Ⅱとは、世帯の全員が住民税非課税の方(低所得者Ⅰ以外の方)。

(※3) 低所得者Ⅰとは、世帯の全員が住民税非課税かつ、世帯全員の所得が0円の方。

(年金の所得控除額を80万円、給与所得がある場合は給与所得金額から10万円を控除して計算)。

健康推進課 国民健康保険係
☎0967-62-2910

節電のご協力をお願いします

今年の夏は、厳しい電力の需給状況となっています。九電グループは、供給面・需要面での対策を進めてまいりますが、お客様におかれましても、熱中症予防などに留意しつつ、支障のない範囲でできる限りの節電にご協力いただきますようお願い申し上げます。

九州電力送配電株式会社大津配電事業所
☎0800-777-9433

- 節電をお願いしたい期間・時間帯(政府要請)
 - ・7月1日~9月30日
 - ・17:00~20:00(太陽光発電の出力が減少し、電力の需給が厳しくなる点灯時間帯)
- 具体的な節電方法の例
 - ・エアコン 設定温度を1~2℃上げる(例:26℃→28℃)
 - ・照明 不要な照明を消す
- 日頃から取り組める省エネ・節電方法の例
 - ・エアコン カーテン・すだれ等で日差しを和らげる
フィルター清掃を2週間に1回程度行う
 - ・冷蔵庫 温度設定を強→中
扉の開閉時間は短く



熱中症の症状

- めまい、こむら返り、手足のしびれ。
- 頭痛、吐き気、虚脱感。
- 意識障害、けいれんなど。

熱中症になったときの処置

- 涼しい場所に避難させる。
- 水分・塩分を補給する。
(スポーツドリンクがおすすめ)
- 衣服を脱がせ、身体を冷やす。

こんな時は救急車を要請してください。

※呼びかけても様子がおかしい。体が熱いの汗をかかないなどの症状がありましたら重症化する前に救急車を要請してください。



熱中症に注意しましょう!

今年も本格的な夏の暑さがやってきました。毎年この季節になると増えてくるのが熱中症です。熱中症は屋内外を問わずに高温多湿が原因となって起こります。最悪死に至る危険な症状です。また、去年に引き続きコロナ感染症対策によりマスク着用で熱中症になるリスクが高くなっています。注意しましょう。

毎年高齢者の熱中症が目立ちますが、子どもは夢中になると自分の体調の変化に気づきにくく大変危険です。また、大人に比べて背も低く、地面からの照り返しで体温が上昇します。体温調節機能も未熟なため、熱中症にかかりやすくなります。高齢者の方だけではなく、子どもにも注意が必要です。そこで次の4つのポイントで熱中症を防ぎましょう。

熱中症を防ぐ4つのポイント

- のどが渇かなくてもこまめな水分補給。
(経口補水液、スポーツドリンク等)
- 室温28度を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう。
- 無理をせず、適度に休憩をしましょう。
- 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを心がけましょう。

消防南部分署

☎62-9034
火災・救急 119

なんでも
南部分署